

令和7年度第1回小櫃・上総地区公民館運営審議会会議録

- 1 会議名称 令和7年度第1回小櫃・上総地区公民館運営審議会
- 2 開催日時 令和7年5月9日（金）
15時00分から17時00分
- 3 開催場所 君津市中央図書館 視聴覚室
- 4 出席委員 【小櫃地区選出】丸山副委員長、木下委員、本忠委員、三橋委員
【上総地区選出】石井委員長、大野委員、緒形委員、田中委員
事務局 【小櫃公民館】藤平館長、會澤副主査、島津主事
【上総公民館】森本館長、相川亀山分館長、早田主査、
今井公民館主事、池田主事
- 5 欠席者 潤米松丘分館長
- 6 傍聴人 なし
- 7 会議概要 下記のとおり

- 1 開会（進行 今井公民館主事）
- 2 公民館長挨拶（森本館長）
- 3 委員・職員の自己紹介
- 4 委員長・副委員長の選出（石井委員長、丸山副委員長）
- 5 議事

【今井公民館主事】

それではこれから、審議に入るわけですが、君津市公民館規則第12条第3項の規定により、議長は、委員長が行うこととなっておりますので、これ以降の進行を石井委員長と交代させていただきます。

それでは、石井委員長よろしくお願いいたします。

【石井委員長】

それでは、さっそく議事の方に入らせていただきます。

では議題（1）令和7・8年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について事務局の説明をお願いします。

【森本館長】

資料1「令和7・8年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について」（P1～6）を説明。

【石井委員長】

ありがとうございました。これから質疑を行います。活発な議論をお願いできればと思います。

気になったことや質疑でも意見でも構いませんので、お願いできればと思います。まず私から。令和5年・6年度の意見書が既に出されておりまして、それを煮詰めた形での7年・8年度で考えていくものですかね。

【森本館長】

おっしゃる通りです。

【石井委員長】

三橋委員何かありますか。

【三橋委員】

まだ意見がまとまりませんが、資料の2ページの下のところ、委員としてまとめさせていただいた意見書がありまして、このメンバーで公民館運営審議会のテーマとして、3ページの地域づくりというところへつなげていくということですが、いきなり地域に視点を当てているじゃないですか。この陰で、これから委員の皆さんも

報告を受けると思うのですが、公民館の利用者が偏ってきているとか、地域に広がっていないとか、それをどうしたらいいのかということを意見書の方に記載しているのですが、一つやっておかなくてはいけないことは、昨年度の最後の審議会の時に、みんなで意見交換した中で、上総公民館、小櫃公民館、松丘、亀山のコミュニティセンターでいろいろな事業をやっていて、今、4つの機関がそれぞれ単独で募集をかけて、地域の人たちに参加していただいている。それぞれの地域の中の人たちはつながるけれども、小櫃と亀山・松丘をつなげたりできるといいと意見交換の場で言ったりもしました。

そういうところをもう一度公民館の方で検証して、私共も意見を交換しながら、地域と地域の関わりを見つけていく作業はやってもいいのかなと感じました。

小櫃地域でも地域づくり協議会を立ちあげようとして今準備委員会を立ち上げたりしていて、そういう任務を市の方も担わなくてはならないということはよく分かりますが、その足元のところを、公民館としてできる地域づくりということで、自分たちの実施している事業を見直しながら、やっていくのかなということを考えていました。

【森本館長】

今回第1回目の会議を終えて、いきなりこのテーマに向けて、事業を実施するというよりは、流れとして、2回目に地区別協議で、今、三橋委員がおっしゃった内容も含めて意見交換をして、年齢の偏りや地域性の偏りという話も出ましたので、そのような点も意見交換して、7・8年度の審議テーマに結び付けられればということを考えています。2回目、3回目の会議でテーマに沿った事業を実施すれば良いとか、どういう方向性で事業を実施すればいいかということをご意見いただき、考えながら進めていきたいと思えます。

【石井委員長】

非常に難しい問題ですね。これは一つの例ですが、亀山地区の方もコミセンを使わずに、上総公民館に行く方が増えています。というのは、亀山でサークル活動をする際、参加する人が少なく、上総公民館に行けば多くの人達がいるということで、そば打ちや卓球など、亀山の人が地元の亀山コミセンじゃなくて上総公民館で活動しています。

住民が主体となって、どこまでやっていくのか課題です。

私も公運審の委員をやって、初めて公民館がこのような事業をやっていると知ったことが多く、少しずつ広げていこうよ、公民館の事業に出ようよって誘い合う形で、いろいろな公民館の事業を勧められればいいのかと思います。

ほかにも、委員さんの方で聞いてみたいことがあればお願いいたします。

【木下委員】

公民館のシステム的なもので、昨年度から今年にかけて職員が減っていたりとか、市民センターの職員が入ってきたりとか、組織が変わってきている話を聞いているのですが、まだ1か月ちょっとしか経っていませんが、うまく機能しているのかとか、困っていることがあるのかとか、そういうお話が聞けたらありがたいです。

【森本館長】

先ほど、自己紹介の時に別紙の職員名簿を見ていただきながら、職員のあいさつをさせていただいた際、疑問に思った方もいたと思います。昨年度の公民館運営審議会の委員には事前の説明をしたのですが、公民館長は、もともと学校長のOBを会計年度任用職員として雇用して館長をやっていたのですが、今年度からそれがなくなって、正規職員が館長をやっています。そのため、去年の職員の数から一名減となっています。

職員名簿には、職名の前に（併）と書いてある市民センターの職員は公民館職員を兼ねています。また、私たち公民館職員も市民センターの職員を兼ねる形になっているのですが、実際は、建物の部屋が違ったりして、実務上は公民館の方は一名減で実務を進めている状況になっています。

【石井委員長】

市民センターの職員も公民館職員の併任辞令が出ているのですね。

何かあった場合は協力体制が取れるということでしょうか？

【森本館長】

その通りですが、実際にやっている業務が全く異なっていて、市民センターは届出などを受理するような業務、公民館はイベントのような事業を企画・運営しています。

併任はかかっていますが業務内容が異なるので、実際は一緒になって取り組むのは難しいです。

【藤平館長】

小櫃の場合ですが、三橋委員の話の中にもありましたが、地域づくり協議会が始まりそうだということで、公民館の職員も市民センターの職員も一緒に協力して、市民と並走しながらやっていくことになっていて、例えば地域づくり協議会に関係する会議がある時には、市民センターの職員も出席しています。小櫃では市民センターと公民館が一緒に取り組んでいくものが一つあるのですが、先ほど森本館長の話にもあった通り、そもそも扱っている仕事や業務が違うので、同じ建物内にあるといっても、実情としては、難しいところがあります。協力できることがあれば接点を見つけて取り組んでいきたいと考えています。

【三橋委員】

学校と公民館で重要なことは、今まで上総や小櫃も館長が学校の校長先生の経験者で、公民館と学校がつながる時に、学校も公民館のことも知っている館長が職員の方にアドバイスしたり、いろいろと学校の方に事前に連絡したり調整したりして、公民館事業の中で重要な機能を担っていたと思います。

その館長がいなくなってしまって新しい公民館長や職員の方が今後、どのように学校と連携していくのか心配でした。そのことについて、この場で話していくことも重要なポイントではないかと思います。

併任の人が入ってきたのは、予算と人事の人数合わせのようなもので、建前として人数は増えているが、実務を行う職員は増えていないということですね。

【石井委員長】

ほっとしていることは、市民センターの所長が館長にならなかったことです。
一般行政の方が館長にならなかったことは評価しています。
全く知らない人が挨拶をしに来るだけになってしまいますので。

【石井委員長】

他に何か意見はありますでしょうか。

それでは意見も無いようですので、（１）令和７・８年度小櫃・上総地区公民館運営審議会についての議事を終わります。

続いて、（２）令和７年度公民館経営指針及び事業計画並びに修繕及び備品購入計画について事務局の説明を求めます。お願いいたします。

【會澤副主査】

資料２「２０２５（令和７）年度 小櫃公民館 経営指針」（Ｐ７）、資料３「小櫃公民館事業計画」（Ｐ８～１２）、資料７「令和７年度 修繕・備品購入計画」（Ｐ１９）を説明。

【森本館長】

資料４「２０２５（令和７）年度 上総公民館 経営指針」（Ｐ１３）、資料５「上総公民館事業計画」（Ｐ１４～１７）、資料６「上総地域交流センター事業計画」（Ｐ１８）、資料７「令和７年度 修繕・備品購入計画」（Ｐ１９）を説明。

【石井委員長】

ありがとうございます。

ただいま、小櫃公民館と上総公民館から事業計画及び修繕等の計画の説明がありましたが、これに対して質疑はありますか。

【三橋委員】

先ほど、委嘱状交付式の際に、公民館の開館時間の短縮の話がありました。それと今の説明との関連を整理して、これからこの地区で今、説明があったような形が固まっているものでなく、新たにいろいろな事業を展開していくじゃないですか。一方で、市の財政面や人事の面だとかいろいろあって、公民館の開館時間を調整していく話があって、さらにもう一つ地域づくりが話に出てきたと思うのですが、その関係性を少し整理しておく必要があると思いました。

今は、この時間帯で公民館が運営してくれればいいと思うんですけど、上総や小櫃でも、他の地域から新しく移り住まれた方がちらほら見えています。

この前、小櫃公民館で文化祭の実行委員会をやった際、開始時刻の関係で参加できない方がいて、２回目をやるときは時間をずらしてくださいという意見が出ていました。

そういうことを踏まえて、市の開館時間を検討する場でそのような意見が出ていることを言っていく必要があると思います。そのためには、実質的に公民館でやっている事業を検討整理したうえで、地域の核として活動を展開しようとしている住民の方

がいて、公民館の方もそれに合わせて活動を展開しようとしていると考えていると主張する必要があると思います。

こういうことを考えている住民の皆さんがいます。公民館の方もそれに合わせて公民館を使ってもらって、地域の核にして、こういうような活動を展開しようと考えている。そういうものをぶつけていかないと、たぶん市の方の考え方では、よその市に倣ったりして、あとお金の問題で、一律に利用時間を決めていってしまう。一方で、こうやっていろいろと説明してくれたように、公民館や地域の方が動こうとしていることに、片方では制約をかけてしまっている。

そういうところをきちんと訴えていかないといけないと思ったので、意見として申し上げます。

【石井委員長】

閉館時刻を一律 21 時にするというのは難しいものがありますよね。

何時でなければ集まらないという会議もあるでしょうし、そのあたりを公民館として事業ごとに意見を出していければと思うがいかがでしょうか。

【森本館長】

開館時間、閉館時間の話について、今回令和 7 年度の実施計画の話をさせていただいたのですが、先ほどの委嘱状交付式の中で生涯学習文化課の方から話がありました。

今後、どうしたらよいか検討していくことになります。

その中で上総公民館、小櫃公民館の事業についても、やるものはやる、統合できるものは統合するなど、その方向性を話し合いながら意見をいただきながら決めていければと考えています。

【石井委員長】

開館時間は原則 21 時までですよ、ただし、プラスアルファがありますというような、但し書きがあるといいですよ。この件については、ここで結論を出さないといけないものではないでしょうし、議事を進めさせていただきたいと思います。

新規に委員になられた方で意見がございましたらどうでしょうか。

【田中委員】

小櫃公民館の「あそんべ食堂」が開かれるということで、素晴らしい活動だなと思いました。チラシを見させていただきましたが、ちょボラの会の皆さんが主体としてやっていくわけですか？。ちなみに、ちょボラの会のメンバーは何人いらっしゃるのですか。

【島津主事】

ちょボラの会自体は、主に 2 人のメンバーとブックママという団体から何名かお手伝いいただいています。

夜の会議を担っているのは 2 人の方で、「おびつあそんべ実行委員会」で関わっているのは、そのうちの一人の方でなので、ちょボラの会とは別に考えています。

【田中委員】

ちょボラの会と「あそんべ食堂」はイコールですか。

【島津主事】

イコールではありません。ちょボラの会から資金面の協力がある関係で、チラシに記載させていただいております。

【田中委員】

この「あそんべ食堂」について、説明に地域食堂とありますが、子ども食堂と同じものなのでしょうか、それとも違うものなのでしょうか。

【島津主事】

同じものになります。

【田中委員】

上総にも子ども食堂があって、支援とか食材の寄付があると思うのですが、お金がかかりますよね。そういった資金面の補助は、市の方からあるのですか。それともボランティアや地域の方の支援金で成り立っているのですか。

【島津主事】

現時点では、去年の文化祭の時にチャリティバザーを実施していて、そこでの売上金から補助をしていただくことになっています。それ以外のものについては未定なのですが、たとえば地区社会福祉協議会から補助したいという話があがっていると聞いています。

【田中委員】

私は木更津法人会に入っていて、子ども食堂の支援、補助を毎年実施しています。君津市で1か所ということで、君津地区の方が子どもの人数が多いし、子ども食堂も盛んに実施されていて、そっちの方に支援が行ってしまっています。

今後うまく開催されていくのであれば、私の方で声をあげてみようと思います。

【島津主事】

地域食堂、と命名した理由は、子ども食堂、とすると、利用できるのは子どもだけになってしまうので、母親同士や高齢者同士が集まれる場所という意味合いを託して地域食堂、としました。

【三橋委員】

「あそんべ食堂」は、やってみようという気持ちを持った人たちが、ちょボラの活動も含めて、公民館の事業に参加してどうのこうのではなく、自分たちが主体で公民館を使っていいんだ、何かやってみようという明確なイメージのもとに生まれた事業だと思います。なので、その人たちを中心に核ができて、そこに島津さんが公民館として人的な支援やアドバイスをして関わって、今後どう展開していくのが重要です。

公民館事業の中で、公民館が寄り添いながら、地域の方々が支援で関わっていく形をこれから続けていくということですね。

【藤平館長】

この「あそんべ食堂」によって、公民館の活動もさらに広がっていくと考えているので、大事に育てていきたいと思っています。とはいえ市の予算はついていないので、地域の方の協力のもとでやっていく方針です。まずは5月20日にお試し開催をするという感じです。まだ手探りではありますが、地域の方たちの思いを大切にしながら、育てていきたいと思っています。

【石井委員長】

よろしいでしょうか。子ども食堂の場合は、作る人が決まっていますよね。必ず保健所の指導に従ってください。そのあたりの問題について考えながら進めていただきたいです。

楽しい場を作ることをメインに実施していると思いますが、衛生管理には、気を付けてください。

ほかに意見はありますか。

【丸山副委員長】

「あそんべ食堂」について、昨日事前のスタッフ会をやっていたと思うのですが、参加者は何人ですか。

【島津主事】

実行委員会のメンバー2人、中学生ボランティアが2人、話を聞いてみたいという方が1人なので、合計5人です。

【丸山委員】

5月20日は実施できそうなイメージですか。

【島津主事】

実際には、昨日の会議に出席した方の他にも、お手伝いをしたいという中学生が2名、調理だけだったという方が数名、他にも公民館のサークルさんから2～3名程度出てきています。

中学生は調理には関わらず、大人が調理をします。

【丸山委員】

続けていくにあたって、少ない人に負担がかかってしまうと、苦しくなってしまう。口コミで、ボランティアさんを広げていければと思います。

【島津主事】

今月中に中学生と高校生あてに、ボランティア募集のチラシを配って募集したいと考えています。さらにボランティアの輪を広げていきたいと考えています。

【石井委員長】

他に何か意見ありますか。

【木下委員】

先ほどの組織が変わったことで、気になっていて、両公民館ともに膨大な量の事業を抱えている中で、一つひとつの事業で地域の方と関わり合うので、事業を削減していくのは難しいと感じました。職員が減になった中で、公民館の運営がやっていけるのか、あるいは、公民館の職員の勤務の大変さが増していくのかというところは、審議会が公民館の方の本音の部分をお聞きして、審議会としてそこに反映していくしかないと思うので、その辺は我々としてやっていかなければいけないのかなと思っているところです。

【石井委員長】

ありがとうございます。私の方から一つだけ。小櫃公民館の備品予算無しということで、公民館同士で備品の貸し借りはありますか。

【藤平館長】

実施しています。

【石井館長】

ありがとうございます。そういう形での予算無しなのかなと思ったので確認です。ほかに何かありますか。

【緒形委員】

以前、私が主任児童委員をやっていた時に、上総公民館で子ども食堂もやっていたのですが、今でもやっているのですか。

【森本館長】

実施しています。

【緒形委員】

あの時は、小櫃のお蕎麦屋さんの方が実施していて、何度か足を運ばせていただいたのですが、その時は、カレーを作っていて、子どもは無料、大人は１００円以上払っていたと思うのですが、小櫃も金額に関しては同じぐらいでしょうか。

【島津主事】

基本的にメニューは、カレーとサラダと揚げ物で、その他に果物を添えられたらと考えています。

上総のつくし園では、無料で提供していると思うのですが、無料にすると資金面で厳しいので、料金は、大人は３００円、子どもは１００円で考えています。

【緒形委員】

私も何回か参加させていただいたのですが、子ども食堂っていう名前で実施しているけども、夜に公民館活動をしている方が親子で食べたり、地域のお年寄りの方が来ていて、私もおいしくいただきました。

良い活動かなと思います。

【田中委員】

上総の子ども食堂に、現在子どもは来ていますか。

地域柄ふらっと行けるところではない距離ですし、親が連れて行かないと子どもも行けないことがネックかなと思っていて、これくらいの人数かと思ったのですが、一緒にやるっていうのはなかなか難しいのかもしれないけど、上総のつくし園は小櫃の方がやっているのですよね。

【今井公民館主事】

お蕎麦屋さんの方と袖ヶ浦の方の3名で実施していて、大体十数人くらい参加者がある状況です。

【石井委員長】

他に何かありますか。

【田中委員】

今まで図書館協議会委員の方に携わっていて、小櫃の図書室は何とかならないのかと思っています。

新しく建て替えをするにあたって、いつになるのかわかりませんが、その時に図書室を充実させるのかなと思っているのですが、今できることを中央図書館も協力して、小櫃公民館の図書室の充実を図ってもらいたいという意見を毎回送っているのですが、どのような取り組みを実施していますか。

【藤平館長】

ちょボラの会の皆さんと協力して、小櫃公民館の図書室は暗くて、入りづらいということで、少しずつ「快善」計画を進めています。公民館のロビーに図書室から本を持ってきて、お子さんが座って読めるような椅子も配置しています。お子さんが手にとりやすい本について中央図書館にアドバイスしてもらい、ロビーの一角を図書コーナーにしています。市民センターに来た親子連れが、こんなところに本がある、と一緒に本を読んでいる光景を見かけるようになりました。図書室の空いたスペースには椅子と机を設置して、そこで大人の方が勉強したり、少しずつですが、変わってきています。

資料を大幅に入れ替えるのは予算がかかるし難しいですが、埋もれていて人目につかない本をうまく人の目につくように配置して手に取ってもらえるかアドバイスしてもらって、少しずつできることをやっているところです。

【三橋委員】

見ていて思うのが、図書館ってこうあったらいいねっていう理想があるとは思いますが、小櫃の人の動きを見てみると、これから新しい公民館ができるとは思うのだ

けど、100%満足できる図書館ができるのかという点も規模も縮小すると思いますし、そうはいかないと思います。

大切なのは、そこに物ができたけど私たちが工夫して、利用する人たちにこういう風に展開していったら、今、小櫃の公民館にそういう人たちが芽生えてきているし、あの人たちを大切にしていけば、新しい公民館や施設ができて施設が整っても、その人たちが運営で携わってくれば、先ほど木下校長先生も心配していた職員の仕事の負担が軽減されることにつながると思います。

小櫃の公民館の場合はそういう動きができていて、職員の方もそういう方たちと密接につながりを作りながら動き出しているから、私はそれを脇で見ていて、大切に育てていけばいいのではないかと思います。それがゆくゆくは地域の核となる人になっていきますので。

【石井委員長】

ありがとうございます。

各地区で図書室は限られています。君津市の図書館はインターネットで予約ができるようになっていて、公民館の図書室に配送してもらい借りていただく形でできればいいのかなと思います。

【本忠委員】

ただ利便性が悪いです。リクエストして早くても1週間後にしか届かないので、読み聞かせに向いている本が届いてみないと分からないため、結局使えなかったという事が多々あります。

【田中委員】

実際、本を手にとって初めて分かることがあるので、上総地区の方たちが中央図書館まで足を運ぶのに、ちょっと遠いので、ぜひ上総地区の図書室を充実してもらいたいという意見は述べてきました。あの上総公民館の図書室は、市内の図書館分室の中で2番目に蔵書が多い場所です。ただ、小櫃の人が上総まで来るかというと、そのような様子はあまり見られません。

前の上総公民館の図書室があまりにも暗くて、人が来るような図書室ではなかったので、建て替えの際に「面積を広げてほしい」「蔵書を増やしてほしい」などいろいろと要望しました。その時は予算があったからかもしれませんが、要望を取り入れていただき、結果として良い図書室ができたと思います。

小櫃公民館の場合は今後の課題というか、まだどのような施設になるのか分かりませんが、良いものができればいいかなと思ってます。

【本忠委員】

せめてリクエストした本を文書の送付便か何かで送っていただけないかと思っています。そうすれば次の日とか2日後に実際に手に取ってみることができます。1週間先、2週間先となると読み聞かせに間に合わなくなる可能性があって、すごく不便を感じています。そういう意見を踏まえて考えてほしいと思います。

【石井委員長】

そういう意見、要望もありましたということで、担当者会議とかそういう中で反映させていただければと思います。

【三橋委員】

去年再整備計画で説明を聞いたとき、公民館とかそういう施設は、人口で規模を決めるということが分かったから、いくら要望してもほんの少し上乘せすることはあったとしても、図書館の本の冊数を充実させるのは、その地域に住む人口で決まってしまうのが去年の説明でよく分かりました。

だったら、本忠委員が言っていましたけれども、利用する側が、本はないけど、本がすぐ来る方法を考えていこうとか、そういう風になっていくのではないのでしょうか。

【本忠委員】

予約した本が公民館分室により早く届くようにしてもらえれば、公民館分室に本が少なかったり、目当ての本がなかったりしても我慢しますので、お願いしたいと思います。

【緒形委員】

今、小櫃小学校にお手伝いに行っているのですが、子ども達は図書室の本を読んだり、「朝読書」で読む機会があります。

また、ひまわり号の話がありましたけれども、低学年の子はよく借りているようです。

【石井委員長】

読み聞かせは大事ですのでね。学校の方でもそういう活動はやっていると思います。

いろいろな要望が出ましたけれども、よろしくお願いします。ほかに意見などはよろしいでしょうか。

【委員全員】

意見無し

【石井委員長】

(2) 令和7年度公民館事業計画及び修繕・備品計画についての議事を終わります。以上を持ちまして、議事がすべて終わりましたので、議長の任を解かせていただきます。

不慣れで時間ばかり過ぎて申し訳ありませんでした。それでは事務局の方にお返しいたします。